

Prisoner of habit:
dance, eat, defecate.

AKIBI plus
ローカルメディアと協働するアートマネジメント人材育成事業
Project3 : AKIBI AIR Project 2015

岩井優

「習慣のとりこ」
踊り、食べ、排便する。

MASARU IWAI
Prisoner of habit:
dance, eat, defecate.

展覧会...2015年11月5日(金)~12月6日(日) 9:00~18:00 全館中絶休入場無料
オーブンスタジオ...2015年10月16日(金)~11月5日(木) 9:00~18:00
アーティストレクチャー...11月6日(金) 18:30~20:00
秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT(CNA本社内)

MASARU
IWAI

www.akibi-plus.jp

BIYONG POINT



AKIBI
plus

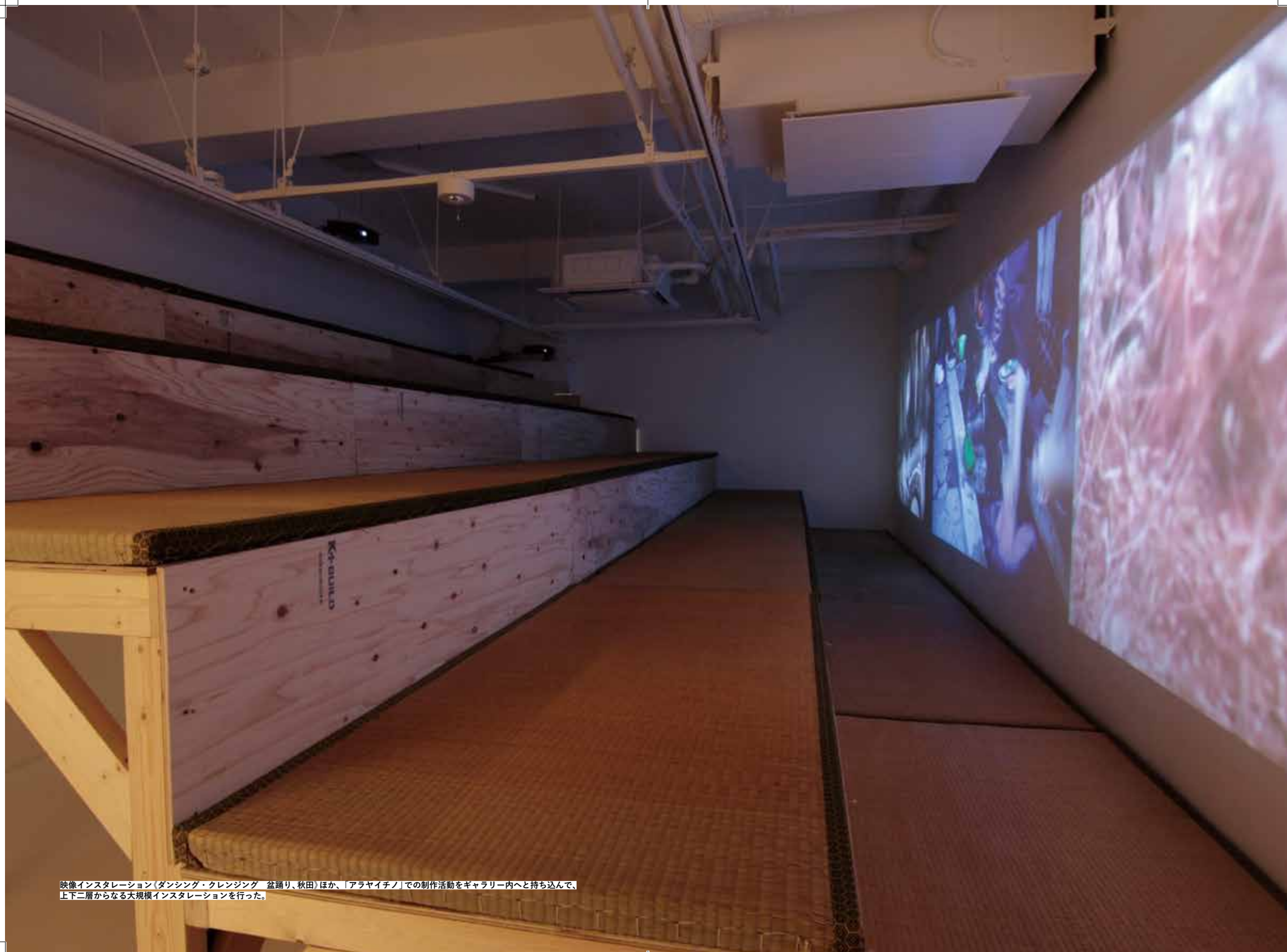


2015.11.6.fri-12.6.sun 9:00-18:00
OPEN STUDIO 2015.10.16.fri-11.5.thu 9:00-18:00 ARTIST'S LECTURE 11.6.fri 18:30-20:00



岩井 優「習慣のとりこー踊り、食べ、排便する。」
Misaru Iwai "Prisoner of habit - dance, eat, defecate"
@秋田公立美術大学ギャラリー - BIYONG POINT

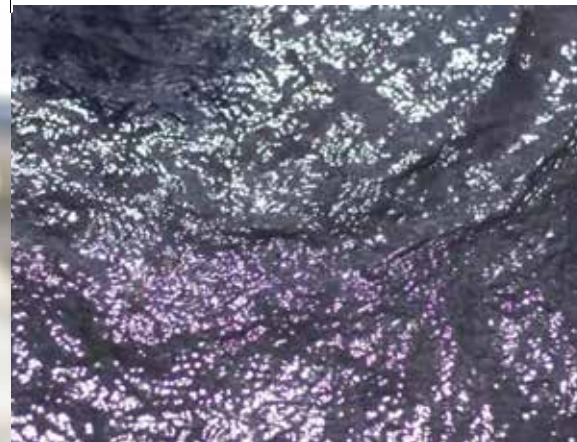
EXHIBITION



映像インスタレーション《ダンシング・クレンジング 盆踊り、秋田》ほか、「アラヤイチノ」での制作活動をギャラリー内へと持ち込んで、上下二層からなる大規模インスタレーションを行った。







WORKS
岩井 優「ダンシング・クレンジング 盆踊り、秋田」
Msaru Iwai "Dancing cleansing, Bon Festival dance, Akita"
2015年 映像 (展覧会では、映像インスタレーションとして展示)





2015

CONTENTS

2	EXHIBITION	「習慣のとりこ —踊り、食べ、排便する。」
10	WORKS	《ダンシング・クレンジング 盆踊り、秋田》 “DANCING CLEANSING, BON FESTIVAL DANCE, AKITA”
12	ARTIST IN RESIDENCE	
18	STATEMENT 2015	
20	SCHEDULE	
22	DOCUMENT	滞在制作の記録
46	LIST OF WORKS & MAP	
48	SUMMARY 2015	「地域課題をこえ、大きな営みの渦を体感する」慶野結香
52	PRODUCTION NOTES	



In the preliminary research for the first visit to Akita in the beginning of September, there were too many 'regional problems' presented and they seemed as a dead-end for the town in its statistics. However, as I visited some areas, I have learned about the point of ease in people's way of living that does not appear statistically. Clear spring water flow through the town. Unfortunately, some of them are already dried up or undrinkable due to the poor quality of the water today. Through the fact that the beautifully presented natural water is actually polluted, it seems the people lost their neighboring relationships and landscapes in exchange for their convenience. As washing machines took over our lifestyle, it created new rules in life. Spring water is no longer used everyday, but new habits continue to give unpredictable effects to our future. This year, I would like to approach to the everyday habits around us by opening up my residence/studio area to the public for a month while I stay in Akita.

- Masaru Iwai

9月初頭、はじめて訪れた秋田の事前リサーチでは、さまざまな「地域課題」が提示され、統計上は崖っぷちだ。しかしいくつかの地域を見てまわると統計には表れない人々の暮らしやすさを知った。町に流れる透きとおったきれいな湧水。でも残念なことに今は枯れてしまった湧水や、水質の悪化で飲むことができないと掲示されているものもある。一見きれいな水が汚染されている事実をとおして、暮らしやすさと引き換えに失い、変わってしまった関わりや風景が見えてくるようだった。洗濯機の登場が新たな習慣を生み、湧水が使われなくなったように、新たな習慣は未来へと予測できない影響をあたえ続ける。今回秋田に滞在する一ヶ月間、私の生活／制作の場所を開放し、その場を足がかりとして私たちのまわりにある習慣にアプローチしていきたい。

岩井 優

STATEMENT

SCHEDULE

メルにてファーストコンタクト	5.7
事前リサーチ開始 CMAミーティング アラヤイチノ懇親会	9.7
国際教養大学、秋田大学、打ち合せ 新屋のお母さんたちとお茶っこ 事前リサーチ終了	9.9
ビジュアルアーツ専攻学生向けプレゼン あらやちやぶちやぶ大学打ち合せ	10.9
撮影ロケハン	10.11
買い出し	10.13
オープンスタジオ設営	10.15
松美ヶ丘音頭練習見学	10.18
サンマ・パーティー	10.23
AKIBI plusシンポジウム打ち上げ	10.26
県立公文書館でリサーチ	10.28
初めてのし尿汲み取り	10.30
買出し 石山拓真X後藤仁トークイベント トークのとりこその1	11.2
観覧会場設営作業	11.4
観覧会開始 観覧会オープニング&打ち上げ	11.6
岩井優滞在了了！	11.9
観覧会終了	12.6

6.28 岩井優 打ち合わせ@二本松	
9.8 KAMIKOANIプロジェクト見学 五城目見学 新屋住民の方と懇親会	
10.8 岩井優滞在了開始！アーツ&ルーツ専攻学生向けプレゼン	
10.10 秋大「人文地理学特論」プレゼン	
10.12 地元の方 撮影打ち合せ 湧水 週刊のとりこ通信第1号	
10.14 撮影リハサル(ちやぶ大&湧水)	
10.16 オープンスタジオ開始 作品撮影(ちやぶ大&湧水)LPレコードイベント	
10.19 秋田大学プレゼン 週刊のとりこ通信第2号	
10.25 オープンスタジオ展示追加	
10.27 県立公文書館でリサーチ	
10.29 県立公文書館でリサーチ 週刊のとりこ通信第3号	
10.31 新屋音頭収録	
11.3 観覧会場設営開始	
11.5 観覧会場設営作業	
11.8 池田拓真イベント 3h solo show トークのとりこその2	
11.23 岩井優ミーティング@錦糸町	
12.7 観覧会撤収作業	

DOCUMENT

2015

9.7 MON - 9.9 WED

「地域課題応答型アーティスト・イン・レジデンス(AIR)」という滞在制作のプログラムを受け、秋田が抱える諸問題にアプローチすべく滞在制作前に事前リサーチの機会を設けた。秋田ケーブルテレビ(CNA)内にある秋田公立美術大学ギャラリー「BYONG POINT」を展覧会場として使用することは与件であったためCNAでの打ち合わせや、地域の空き家を活用した「アラヤイチ」のキックオフとしての懇親会を大学関係者と学生で行った。二日目は、上小阿仁村で行われていたアート・プロジェクト「KAMIKOMIプロジェクト」や五城目町の「シェアビレッジ 町村」を見学。夜には新屋地域の町内会役員の方々などへのインタビューを兼ねた懇親会を高長寿司で実施。最終日も午前中より新屋のお母さん方をお願いして地域の寄り合い「お茶っ」をセッティングしてもらい、昔の暮らしや思い出についてお聞きした。「地域課題」といった時にしばしば挙げられる秋田県の高自殺率から、NPO法人 蜘蛛の糸さんなど課題解決に取り組んでいらっしゃる方々へもインタビューを行っていた。さらに、美大の学生だけでなく様々なバックグラウンドの方に参加していただくべく、秋田大学や国際教養大学へも足を運んだ。(慶野)



夜には新屋地域の町内会役員の方々などへのインタビューを兼ねた懇親会を高長寿司で実施。



週刊のとりこ通信



岩井優さん滞在制作開始

湧水と盆踊をテーマに

秋田公立美術大学の藤浩志教授(55)が空き家となっていた、秋田市新屋表町8-11の渡邊イチノ邸をアトとして借り上げた。名称は「アラヤイチノ」。アーティストが滞在制作をする住居、スタジオ、学生のアトリエなどとして活用していく予定。現在は、秋田公立美術大学がすすめる文化庁助成金を用いたプロジェクト「AKIBI plus (アキビプラス)」の一環で、世界的に活躍する美術家・岩井優(いまさる40)さんが10月8日から滞在制作を始めている。岩井さんは掃除などを現代美術で扱っている。11月9日まで秋田に滞在予定。

岩井さんは9月に事前リサーチとして3日間秋田に滞在。秋田の地域課題や地域特性を作品に活かして欲しいという美大の要請により、人々の習慣に着目する

ご協力をお願い

愛宕下と薬王院下の湧き水を利用して時代再現を10月14日、16日両日午後4時から、大川端せせらぎ水路では14日午前10時半、16日後2時半から撮影します。ご参加の程よろしくお願ひします!!

発行元：秋田市新屋表町8-11 アラヤイチノ (慶野) 発行日：平成27年10月12日

10.9

今日もアラヤイチノ開放中です。ムーディな照明に替えて、岩井さんは作品のプランを練っています。午前午後と学内でこれまでの作品について、今回の秋田でのプロジェクトについて秋美の学生

10.8

岩井優さんの滞在制作がはじまりました！今日は秋田公立美術大学の学生向けに、これまで制作されてきた作品の紹介と今回のプロジェクトについての説明を行いました。滞在拠点となるアラヤイチノを早速補修したり、改修についてみんなで相談したり：アラヤイチノは24時間オープンしています。(慶野)

今日もアラヤイチノ開放中です。ムーディな照明に替えて、岩井さんは作品のプランを練っています。

10.10

秋田大学の「人文地理学特論」の授業に邪魔しプレゼンテーションをさせていただきました。学生のみならず作品を見せながら、感想など語り合うことができた岩井さん。篠原秀一先生ありがとうございました！今日のアラヤイチノには、美術家の池田拓馬さんがいらしています！ご自身の作品について、八戸のことについていろいろお聞きする予定！(慶野)





勇水のレクチャーでは地域の方たちが野菜を洗ったり昔の水路の写真を見ながら思い出話に花を咲かせたり

美大のある新屋地域の湧水や行われなくなってしまった盆踊りに着目

10.15 THU

明日からオープンスタジオ@BYONG POINTというところで、ビジュアルアーツ専攻の学生たちと設営。滞在先であるアラヤイチノに足を運んでもらうべくセッティングしてみました。今日のアラヤイチノは、学生が作戦会議中。明日もまた、13時より新屋地域の湧水を地元の方のご協力のもと撮影。あらやちやぶちやぶ大学の協力のもと大川端近隣公園付近で14時半から撮影です。(慶野)

10.14 FRI

本日は10時半からせせらぎ水路でのおそうじやぶと16時からの薬王院下湧水掃除レクチャーに参加しました！おそうじやぶではいつもと違った掃除方法を試したり、おそちや初！せせらぎ水路を飛び出したりとなんともおもしろいことをしました！湧水のレクチャーでは地域の方たちが野菜を洗ったり昔の水路の写真を見ながら思い出話に花を咲かせたり・・・昔はもつと水もたくさん出ていてそうですね。明後日はいよいよ本番と言うことで楽しみです！(津曲)

10.13 TUE

本日は朝から滞在施設「アラヤイチノ」で必要なものの買い出しに行った岩井さん。改修のための木材も入手し準備万端です。学生たちを中心に、アラヤイチノをみんなで使いやすいようにいじっていく予定。アラヤイチノでは、スモーク部の活動も行われています……！CNAのオープンスタジオの準備をして、現在は取材応答中。明日からはいよいよ作品撮影もはじまります。(慶野)

10.12 MON

雨の休日ということもあり、地域住民の方と14日、16日の作品撮影の打ち合わせをした後は、アラヤイチノで諸々構想中の岩井さん。14日、16日に撮影を予定している作品は、美大のある新屋地域の湧水や行われなくなってしまった盆踊りに着目したもので、愛宕下湧水近隣にお住まいのみなさん、あらやちやぶちやぶ大学のみなさんのご協力をいただいています。(慶野)



今日は一日中撮影日和。新屋愛宕町内会
の方々のご協力のもと湧水の撮影



10.16 FRI

本日からCNA本社でBIXIONG POINT
にて、岩井優さんのオープンスタジオが
はじまりました！
今日は一日中撮影日和。新屋愛宕町内会
の方々のご協力のもと湧水の撮影と、あ
らやちぶらやぶ大学との撮影を行いま
した。地元の方からは、かつて新屋で
行われていた盆踊りについて貴重なお話も
伺いすることができました。
これから新屋表町の渡邊幸四郎邸にて、
LPレコードのイベントが行われるらしい。
岩井さんも参加されるようです。(鹿野)

週刊のとりこ通信



動きはじめたアラヤイチノ

アラヤイチノから帰る支度の最中、突然の来客があった。時間は確か21時くらいだったと思う。その人曰く3件ハシゴした後に寄ったのだという。知らない人だったがおそらく地域に住んでいる方なのだろう。もう少しお話を伺いたいところだったが、帰って制作活動を行わなければならなかったの、後ろ髪引かれる思いでその日は帰宅した。

このように今、新屋にあった空家のひとつはアラヤイチノという場に生まれ変わり、人々が入り出す空間となった。中は昭和の雰囲気漂う畳の間があって、「イチノへ行く」という感覚よりは「イチノへ帰る。」といったほうが正しいような雰囲気である。アラヤイチノの利用状況としては美術大学の学生が多く、授業が終わると様々な目的を持った人達が集まってくる。制作場所を求めて来る人や食べ物を持ち寄ってみんなでわいわいしたい人や、サークル活動の場所又は打ち合わせ等である。

目的が様々な為、アラヤイチノをどんな場と一言で形容することは少々難しい。学年は様々で、専攻もバラバラ。ここでは今までその人をカテゴライズしていたものがミックスされつつあると感じていて、私はこのような場所は貴重で、今後必要だと強く感じている。今は学生間の近い世代同士の利用が多いが、もっと世代が離れている人たちとの交流も行いたい。なぜなら私たちはいま美術大学という場で何が行われているのか、皆さんに知っていただきたいという気持ちが強いかからだ。異なった世代の人々が一つの空間に混ざり合って情報を共有したり、学び合ったりすることで深められる何かが存在すると思うから。希薄な繋がりを少しずつでも強固なものにしていくことで、互の理解に繋がっていくと信じている。

(蛇川、秋田公立美術大3年)



秋田市新屋表町 8-11 アラヤイチノ (秋田公立美術大学レジデンス) (鹿野)

10.18 SUN

10.17 SAT

滞在制作も3分の1を過ぎ、残りのプランを練り直す。(山井優)

新屋では行われなくなってきた盆踊りのリサーチのため、勝平地区コミュニティセンターにお邪魔し、松美ヶ丘音頭の練習を見学させてもらった岩井さん。現在、アラヤイチノでは学生による地域アート研究会の活動が行われています！生春巻きが着々とできています。(鹿野)

10.19 MON

今日も秋田大学教育文化学部地域振興に関する授業で秋田での滞在制作についてプレゼンをさせていただきました。いろいろな感想をいただきました。そしてアラヤイチノには、佐藤聡子さん(バイオリニスト、アラヤイチノオーナーのお孫さん)のご実家で採れたお野菜やお花がたくさん届けられました。ありがとうございます！

アラヤイチノの一部を学生のアトリエ化する計画も着々と進行中。大きなキャンバスが運び込まれました！(鹿野)

10.20 TUE

アラヤイチノでのんびり (高尾)

滞在制作も3分の1を過ぎ、残りのプランを練り直す。



食べ終えた後の内臓とか、尾頭付のまだ
身が残っている骨とか、血生臭い匂いとか

10.22 THU 10.21 WED

イチノ始動14日目！ハンモックが取り付けられました！（蛇川）
週間経ったイチノ。今日はワイワイです！深夜に、サンマパーティー用の机が完成？したもう！岩井さん、あかり、スガ、ふりもっち。お疲れ様でしたー！！（蛇川）

10.23 FRI

サンマ150匹食べるパーティーに参加しました。食べ終えた後の内臓とか、尾頭付のまだ身が残っている骨とか、血生臭い匂いとか、普段も感じてるはずなのに、テーブルに並べられて、食べた後の変わり果てた姿を見て、人が食べ終わつたものなんて見ないし、とにかく不思議だった。でも人の食った魚がどうか、そんなことはどうでもよくて、この空間自

体が？大切に、これが本来の空間であるかのような感覚も覚えたし、うまく言えないけれど失ったらしい気がしました。（蛇川）





地元でもご存知の方がすくなくなっている「新屋音頭」をご披露いただき、太鼓のご指導もいただきました。

10.29 THU

アラヤイチノ通常営業中！振本くんがトフをつくっているぞ！西永さんが11月の展覧会に向けて制作を続けているぞ！よき風景、展覧会構想も大詰めです。岩井さんは今日も公文書館でお籠り。（慶野）

10.28 WED

アラヤイチノ通常営業中。表の鍵がなかなか開かないけど。裏の鍵が開いています！学生たちが集まってハロウィンパーティの準備をしていたり。岩井さんは今日もCNAで実測と打ち合わせと公文書館で絶賛調査中です。（慶野）

10.30 FRI

今日はハロウィンだそう。大学では仮装パーティーが行われているようです。アラヤイチノは通常営業中。もっとみんな大学のパーティにも楽しんでくればいいのに！現在は岩井さん監修のもと、みんなでタコごはんを作るべく奮闘中。展覧会のスタディ模型もあがってきました。佐藤和平くんどうもありがとう！来週はトワイベントも予定しています。（慶野）

10.31 SAT

民謡梅若会の浅野江里子さんにご協力いただき、地元でもご存知の方がすくなくなっている「新屋音頭」をご披露いただき、太鼓のご指導もいただきました。感動、江里子さん、お忙しいなかありがとうございます！今はアラヤイチノで映像編集作業の追い込みと来週の設営計画中。みんなで新屋音頭を歌っています。（慶野）



10.26 MON

今日は20時すぎから矢津さん講義とAKB48の打ち上げがアラヤイチノで行われるらしい！ということで、現在おもてなしの準備をしています。家具職人、岩井さんと振本くんと中川くん。（慶野）

10.25 SUN

CNAで開催中のオープンスタジオに手をいれた岩井さん。展覧会の構想も本格化しています。新屋音頭のリサーチも佳境。滞在制作も後半です。（慶野）

10.27 TUE

五城目から小熊さん、静岡から大地さんにいらしていただいた今日のアラヤイチノ。机の落書き（ドローイング）は2枚目に突入。部屋の掃除も夕食の準備も学生が自主的にやってくれています。サイコー（慶野）

新屋音頭の歌詞カードと楽譜を拡大しました。見やすくなったので、これから練習です。録音はファイル化できていない。(高橋伸)

来てみましたアラヤイチノ
まあトイレの改修とかしたんですけどね
(佐々木展)

今日も学生がたくさん来てます。1年生が多い！岩井さんがいないな！と思つたら奥の部屋で映像の編集をされてました。頑張れ岩井さん！これから皆で晩御飯の準備をします。今日は何が出来るのかなー（振本）

石山拓真さんと後藤仁さん、ホスト岩井優さんによるトークはじまってます！夕飯もあるよ〜ぜひお越しください。



《トークのとりこ》
 その1：「花のアラフォー3人組、食べていくためのアートとは in 秋田」
 2015年11月2日(月)
 19:00～21:00
 ゲスト：石山拓真(デザイナー、ゼロラテ)、後藤仁(デザイナー、ココラボトリ代表) ホスト：岩井優(美術家、アラヤチノ滞在中制作中)
 会場：アラヤチノ(秋田市新屋表町8-11) ※入場無料、食べ物・飲み物の持ち込み歓迎

田村公成美術大学の招聘で、空き家を活用したレジデンススペース「アラヤイチ」にて滞在制作を行っている。今回は、ゼロダテの設立メンバーで秋田県大館市出身・在任のデザイナー石山拓真さん、秋田市川反でギャラリー・コラポラトリの代表を務められている後藤仁さんをアラヤイチにお招きし、岩井優を含む同世代の3名によるトークをお届けします。アートやデザインを仕事にしていくと、自身の表現活動によって食べてきた経験やそのテクニクによって、地域にコミットしながら活動を継続させること、そして今後の展望についてお話を伺います。夕食時ということで「まかない鍋」にもぜひご期待ください。

7-201

TALK EVENT

第三號

週刊のとりこ通信



借りぐらしのにしながさん

キャンバスの運び出し

うちの美大にはただでさえ制作できる場所が少ないというのに、かつこつくて一年生にアトリエを譲ってしまった。どうしよう。とキャンバスの前で一人考え回っていた。「そうだ、もしかしてこれってイチノで描けばいいんじゃないの……」制作場所が無ければ作ってしまえばいいのの見える夜、その辺にあったオンボ口荷台にキャンバスを乗せ大学のアトリエから運び出した。ガタガタの荷台の上に162×211センチの絵画パネルが一枚、友人4人の手を借りて道を行くその光景はみように大胆な夜逃げといった感じ。桜街道、新屋温泉、带状公園、ドジャース新屋店、自分の作品と一緒にいるというだけでいつも通っている道が、そして作品が違って見える（みんなもやってみよう）。ゴトゴト音を立てながら道を進

んでいると、そのうちアラヤイチノがみえてきた。もしもキャンバスが入り口を通らなかつたらどうしようかしらと考えていたが心配無用、パネルはあつというまに室内へ運び込まれた。そして今、私はアラヤイチノで製作している。

ご協力のお願い

来る **11月6日** から始まる
「習慣のとりこ」展にむけ
11月3日 から CNA 内
Biyong Point で設営
が始まります！ガーランド
の設営、木材によるインス
タレーション制作がありま
す。協力者を大募集！！

AKIBI AIR Project 2015

岩井優

MASARU IWAI
Prisoner habit
dance, e
cate.

習慣のよこ

踊り、食べ、**11月**便する。

発行元：秋田市新屋表町 8-11 アラヤイチノ [REDACTED] (慶野) 発行日：平成 27 年 10 月 29 日



絶賛設営中ですが、夜はいつものように人がくるくるアラヤイチノ



11.6 FRI

11.4 WED

11.3 TUE

アラヤイチノ(新屋表町8-11)での毎晩の集会やサンパーティーは一体何だったのか?
岩井優さんが来た一ヶ月間で何が変わったのか?これからのような展開が期待されるのか?などご理解いただける場になりたいと思っておりますので、どうぞお運びください。
当日の打ち上げは、アラヤイチノを予定しています!! (慶野)

絶賛設営中ですが、夜はいつものように人がくるくるアラヤイチノ(慶野)

イチノにてカモ鍋します。(勝手にごめんなさい)1人300円です。11月1日から秋田は狩猟解禁で、猟友会の方が捕って下りました。昨日捕って今日の朝さばいた新鮮な鴨です!矢島の美味しい味噌とネギで頂きます(平石)

一応オープンスタジオ中のBIYONG POINTでは(ギャラリーのシャッター閉まっていますが)展覧会の設営がはじまっています!! (慶野)

LECTURE

アーティスト・レクチャー
2015年11月6日(金)18:30~20:00
(終了は21:00ごろを予定)
@美大ギャラリー BIYONG POINT
(CNA本社内、秋田市八橋南1-3)
*きつとこんなことができるのは、最初で最後です。芋煮をつくる予定です。

【展覧会】
11月6日(金)~12月6日(日) / 9:00~18:00
@美大ギャラリー BIYONG POINT (CNA本社内) *大工事の結果、床面積が2倍になりました。ぜひ見に来てください。
【打ち上げ】
11月6日(金) 22:30ごろ~翌朝
@アラヤイチノ(秋田市新屋表町8-11)
*まじめにみなさんと、今後のアラヤイチノの活用方法について語り合いたいです。
ディスコライト登場は深夜3時頃を予定。





毎夜振本君の歌声が響く

僕が最初にアラヤイチノに来たのは、十月十日の午前一時。友人を連れて行きました。その日は朝五時まで楽しい時間を過ごしたのを今でも鮮明に覚えています。

それからイチノに入り浸る生活が始まりました。サンマパーティ・なんの変哲もない時間・そして岩井優さんを通して様々な人と出会い。普段聞けない話を沢山聞く事が出来、技術も学ぶ事が出来



得意のギターをかき鳴らす振本君

アラヤイチノでの一ヶ月

ました。この一ヶ月で僕は大きく成長出来たと思います。滅多に弾かないギターを弾き、歌い、踊り、ご飯を作り皆で食べ、話し、寝て大学に向かう。そんな一ヶ月をアラヤイチノで過ごしました。

ここで体験した事から普段当たり前のような習慣が実は欠落していた事を気付かされました。

そして僕は、イチノに画材を持ち入れ制作をし通っていた学生も、今まで通りイチノに集まっています。僕は岩井優さんにアラヤイチノでの生活のとりこに、させられたのかもしれない。

(振本聖一)

AKIBI AIR Project 2015

岩井 優

MASARU IWAI

Prisoner of habit

「習慣のとりこ」

12月6日(日)まで!

踊り、食べ、便する。

発行元：秋田市新屋表町 8-11 アラヤイチノ (慶野) 発行日：平成 27 年 11 月 11 日



つかの間の静寂、のアラヤイチノにお
じゃまりました。池田さんがお土産(近
くで買った茸と塩辛)を携えて登場。

11.9 MON

岩井さん滞在制作おつかれさまでした！
いっぱいありがとう。また撤収で。(慶野)

11.8 SUN

つかの間の静寂のアラヤイチノにおじゃ
まりました。池田さんがお土産(近くで
買った茸と塩辛)を携えて登場。今夜は
お二人のトークがあります！(嵯峨)

11.7 SAT

岩井さん、学生にベレロニーノ伝授中。
(慶野)

ようやく口説けました。明日はついに蛇
川母がイチノに参戦！(蛇川)

昨日「CNAのBYONG POINT」で行わ
れた「アーティスト・レクチャー」で、新
屋表町を4回も唄いました。打ち上げも
参加して、まだ眠い。(高橋)

《3h solo show》池田拓馬「作者不明のじかん」
2015年11月8日(日) 18:00 ~ 21:00 (予定)
《トークのとりこ》
その2：池田拓馬×岩井優「今いるここはどこなのか」
2015年11月8日(日) 19:00 ~ 20:30
会場：アラヤイチノ(秋田市新屋表町 8-11)
*入場無料、食べ物・飲み物の持ち込み歓迎
美術家の岩井優が11月9日(月)まで秋田公立美術
大学の招聘で、空き家を活用したレジデンススペース
「アラヤイチノ」にて滞在制作を行っています。今回は、
美術家の池田拓馬さんをゲストに3時間限定
の個展「作者不明のじかん」とご自身の作品に関する
トーク「今いるここはどこなのか」をお届けします。池
田さんは絵画のバックグラウンドを持ちながら、屏など
を用いた大型のインスタレーションやビデオ、モニ
ターを用いた映像作品を発表されています。トークで
は、作品についてお話いただく他に、池田さんの先輩
にあたる岩井優と、様々な場所に滞在することと作品
の関係などを語ります。岩井優がアラヤイチノに滞在
する最後の夜です。みんなで盛り上がりましょう！

EXHIBITION

AKIBI plus :
ローカルメディアと協働する
アートマネジメント人材育成事業

Project3 :
AKIBI AIR Project 2015
岩井 優
「習慣のとりこ 一踊り、食べ、排便する。」
Masaru Iwai
“Prisoner of habit – dance, eat, defecate”

会期
展覧会
2015年11月6日(金) - 12月6日(日)
※会期中無休、入場無料
オープンスタジオ(プラン展示)
10月16日(金) - 11月5日(木)

会場
秋田公立美術大学ギャラリー
BIYONG POINT (ビヨンポイント)
秋田市八橋南一丁目 1-3
(秋田ケーブルテレビ(CNA内))

開場時間
9:00 - 18:00

主催
秋田公立美術大学

助成
平成27年度 文化庁
大学を活用した文化芸術推進事業

協力
株式会社 秋田ケーブルテレビ(CNA)、Takuro
Someya Contemporary Art

WORKS

《ダンシング・クレンジング 盆踊り、秋田》
3チャンネル・HDビデオ、サウンド
10分21秒
秋田
2015年

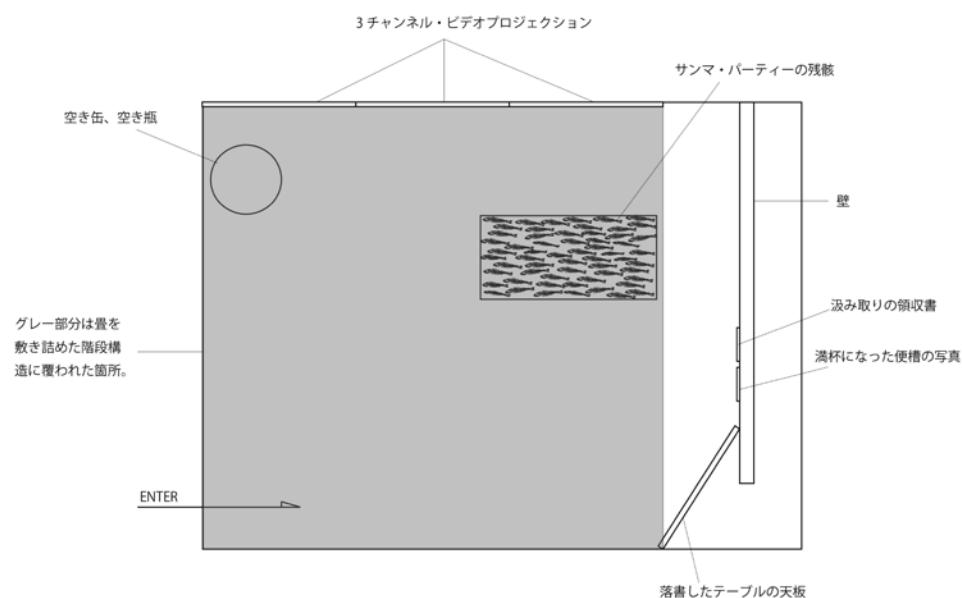
《「サンマ・パーティー」の記録》
150匹のサンマの残骸
可変

秋田ケーブルテレビによる映像記録
HDビデオ、サウンド
36分48秒
秋田
2015年

《尿管汲取りの領収書》
8,049円
720L
2015年11月2日

《天板の落書き》
合板、水性顔料、その他
1820mmX910mm
秋田
2015年

《ゴミ》
数日分の酒などの空き缶、瓶など
可変



「地域課題をこえ、大きな営みの渦を体感する」

慶野結香

世界各地で滞在制作を実施し、清掃をはじめとする人々の日常的な営みから映像作品、パフォーマンスやインスタレーションの制作をしている岩井優。2015年度は、彼を約一ヶ月間招聘し、滞在制作と展覧会を実施した。岩井は、誰もが無意識のうちに実践している行為を増幅したり変換したりすることで、そこに潜むことわりを鮮やかに映し出すアーティストだと言えよう。作家個人で取組むスタジオ型の作品も発表しているが、作品の多くが滞在先の人々との協働によって生み出されている。

このレジデンシー・プログラムは当初、AKBI plus 代表の岩井成昭教授より、事業内にいくつかプロジェクトがある内のプロジェクト1「地域課題＋ウェブメディア」でのリサーチの成果を反映する「地域課題応答型アーティスト・イン・レジデンス（以下、AIRと記載）」として提案されたものだ。先行したプロジェクトが県内の諸地域におけるケーススタディを扱ったこともあり、AIRのプロジェクトをそれらの地域で直接展開することは難しかった。

ている。地域課題に応答するというフレームがあるなかで、SEAにおける地域課題へのアプローチを念頭に置きながら、滞在制作前にプランニングを行うため事前リサーチを実施した。ここでは、県内で自殺対策に取組む団体や地域の社会問題を専門とする方々へのヒアリングを行いながら、作家や企画者の触覚を大切にプロジェクトの組み立てを行った。喧伝される課題に反して、秋田市内は首都圏に比べれば満員電車もないため暮らしやすく、地物の新鮮な食材が安価に手に入る豊かな土地といえる。そんな中、岩井は美大のある新屋地域の住民から聞いた「湧水」の使われ方の変化に着目し、我々の習慣のささいな変化が、人口減少などの大きな課題に結びついているのではないかという仮定のもと、地域の課題へアプローチしていくこととなった。

滞在制作では、まず地域の方々のご協力を得て、30〜40年前はごく当たり前の光景だった、湧水での食物や洗濯物などの洗い方を再現してもらうところからはじまった。同時に、学生が組織しているボランティアサークル「あちやぶちやぶ大学」の協力で、通常行っている水路の清掃活動をもとに、水路の外へと展開する映像作品を撮影した。岩井は元々、掃除の動作がダンスに展開していく「ダンシング・クレンジング」と題したシリーズを制作しており、本作はそのバリエーションとして構想された。新屋地域の住民が湧水の水場から戻る途中、清掃に夢中になるばかりに水路から路上へ出てしまったちやぶ大の学生たちと空き地ですれ違う。その瞬間、自然と盆踊りのリズムと動きが生まれ、かつてない「新屋音頭」が生まれるという映像作品

しかし、本プロジェクトと同時期に岩井成昭教授が、NHK秋田放送局の年間キャンペーンとして「人口減少」をテーマとし、社会問題を身体感覚で体験させる作品制作を行っていたこともあり、「地域課題応答」を掲げた時に、「人口減少」へのアプローチを秋田では比較対象として意識することになったように思う。

秋田県は統計データからみれば、全国最速のペースで人口減少が進み、高自殺率で例年ワースト一位を争い続けている土地だ。少子高齢化は全国的に歯止めがかからず問題視され続けているが、秋田はなかでも先行地域として認知されている。ところで近年、アートを通した社会創造を志向する「ソーシャリー・エンゲイジド・アート（以下、SEAと記載）」の可能性が訴えられている。『関係性の美学』*1や「リレーションナル・アート」の思想を超えて、SEAは美術館やギャラリーといったアートのコンテキストの中で参加型体験をつくり出すに留まらず、コミュニティと深く関わり、社会変革を目指す

である。これは、異なる要素が溶け合い、地域に新しい風が吹くことを暗示しているのだろうか。映像が延ばされることによって、通常では気にしないささいな動作が様々な表情をもち見えてくるのが興味深い。

撮影中、新屋地域の住民と会うことで、岩井は様々な昔の話を目にし、今では踊られなくなってしまう盆踊りの存在に行き着いた。お年寄りへのヒアリングをもとに、現在では知る人もほばいない新屋音頭を再現している新屋在住の民謡歌手・浅野江里子さんの協力を得て、クライマックスでは「新屋音頭」を映像の音源として使用した。

また、新しい映像作品を作ると同時に、岩井は秋田県公文書館が所蔵する「県政映画／ニュース」によって戦後の暮らしをリサーチ。1961年に開催された第16回国体へ向け県内が都市化していく様子、清掃活動を通して県内の美化を呼びかける様子をパブリックな広報媒体から読み解くことで、新生活運動等を経て、日本の地方が均質な価値観を得ていく様を観察したのだった。展覧会では、新作映像とともに「県政映画／ニュース」*2に多数登場する、掃除をしているシーン、人々が歌い踊っているシーンをリミックスした映像を左右に流し、三スクリーンのインスタレーションを構成した。

この滞在制作において最も特徴的だったのは、タイトルともなった「習慣」の変化にアプローチすべく、岩井氏が「アラヤイチノ」での滞在生活を地域

住民や学生に24時間開放したことだ。滞在開始まもなく、新屋地域に固まって住んでいる学生が放課後溜まるようになり、毎日20名ほどと夕食を共にすることとなった。ギターをかき鳴らし歌うもの、大学には作品制作の場所がないと訴え、大きなキャンバスを持ちこむ者、学内でできないからと火をたき燻製をつくる者……時たま「サンマパーティー」をはじめとして、テーマへとアプローチしつつも不特定多数の人を集めるイベントを開催し、アラヤイチノはこの地でなにかを求める者のニーズをゆるく包摂していった。場を与えられることで湧き出る欲望や、岩井優の語る在外的な体験「Surviveart（サバイバート）」*3をはじめとするプロジェクトや彼の思想に触発されることで、学生たちは場について意識を向けるようになる。実際、岩井が滞在制作を終えたあと「アラヤイチノ」の場を自治して守っていきたいと考えた学生有志数名が、当時この物件の家賃を払っていた藤浩志氏と交渉し、試しに場の運営を行うことにもなった。他者との共存の難しさ、ルールの必要性、場を続けていくためにかかるお金、皆の夕食を提供するために発生する労働とその分担や分配。毎日発生するゴミとその処理。こう書くとき冷たいようだが、発生した共同体を自分たちで持続していく困難さに直面することで、学生たちは生きていくことを学びはじめたのではないだろうか。いつか本当に自分たちの場をつくる必要性が生じたときに、今回の経験がなんらかの遺産となればよいと願っている。

「アラヤイチノ」での実践は、まるで私塾のようでもあった。自分が死んだ

いるなど、すべてのものが循環する仕組み作りを行った。

「地域課題」から出発したこのプロジェクトは、「習慣」という無意識に形成されるものに着目することで、単に社会問題を可視化し警鐘を鳴らすに留まらず、我々人間の営みという大きな渦を表していたに違いない。このプロジェクトに関わったそれぞれが、この経験や展覧会での体感を通して、自分自身のあり方やそれを取り巻く環境、地域、社会を意識化し、今後どうしていくか。SEAという枠組では語りきれないものが、岩井の手によって秋田に残されたと言えるだろう。

*1『関係性の美学』…ニコラ・ブリオー（Nicolas Bourriaud, 1965-）が1998年に出版した書籍。リクリット・ティラヴァニ（Rirkrit Tiravanija, 1961-）等の作家の活動や作品を関係性の創出という観点から論じ、それらの作品を「リレーショナル・アート」と呼んだ。

*2「県政映画／ニュース」…秋田県は1955（昭和30）年より、県の広報媒体として映画を取り入れた。「県政だより」のタイトルで制作されはじめ、1957年からは「県政ニュース」に改題、1973年からは「新県政ニュース」となりカラー映画化され、その後はテレビ番組に移行し現在に至っている。

*3 Surviveart（サバイバート）…2004年11月に始動した、芸術・表現の場で「お金」というキーワードに正面から取り組む集団。アーティスト、コンサルタント、デザイナー、教師、学生、フォトグラファー等によって構成され、展覧会、トークイベント、出版、アーティスト支援等の活動を展開していた。美術家の岩井優氏が代表を務めていた（現在はキュレーターの長内綾子氏が代表を務めている）。

*4 パープルルーム…美術家・梅津庸一（1982-）を中心とした私塾「パープルルーム予備校」（神奈川県相模原市）を拠点とするアーティスト・コミュニティのこと。2013年に始動し、表現様式や理念、出自で括る従来の美術制度と異なるつながりを構築し、日本の美術教育や美大といった制度の問題に切り込む活動を行っている。

後の時代まで、よりよくあることを願えば、未来のために資することは必然性を帯びる。大学ではカバーできないような、オルタナティブな教育の可能性が試みられていたとでも言おうか。近年、画家の梅津庸一が「不定形の理想共同体」を掲げて運営しているアーティスト・コミュニティ「パープルルーム」*4のように、共同生活を通じた表現は模索され続けている。個人の限界を超えて活動を生み出すために、コレクティブを結成するアーティストも多い。学校教育の外に生ずる、必然性を帯びた共同体と地域の関係性には可能性が秘められている。一方で、四年をサイクルとして循環していく学生という存在、人が変わっても受け継がれていく場所のDNAのようなものを意識するきっかけにもなった。

展覧会の構成について触れ、2015年度の本プロジェクトについて述べる結びとしたい。滞在制作がはじまって間もなく一ヶ月となる11月上旬、アラヤイチノの簡易水洗トイレが満杯になり、汲み取り業者を呼ぶことになった。日々この場に集った人々のし尿は、何かすることで腹が減り、食べ、排便するという人間のサイクルを感じさせる象徴的なものとなった。展覧会では、会場の床面積を約二倍にする木造の階段ステージを用意し、その下層部を生産のベースとなったアラヤイチノでの営みの空間、上部を映画館のように作品を見るための空間として滞在场所の量を数き詰め、鑑賞者が生活の空間を通り、作品を見て、また日々の営みに戻っていくよう設計した。さらに構造へ使用したツーバイフォー材は、展覧会終了後アラヤイチノの床面補修に用



PRODUCTION NOTES 2015

展覧会情報

AKIBI plus :
ローカルメディアと協働する
アートマネジメント人材育成事業
Project3 : AKIBI AIR Project 2015
岩井 優
「習慣のとりこ ー踊り、食べ、排便する。」
Masaru Iwai
“Prisoner of habit – dance, eat, defecate”

会期

展覧会
2015年11月6日(金) - 12月6日(日)
※会期中無休、入場無料
オープンスタジオ(プラン展示)
10月16日(金) - 11月5日(木)

会場

秋田公立美術大学ギャラリー
BIYONG POINT (ビヨンポイント)
秋田市八橋南一丁目 1-3
(秋田ケーブルテレビ(CNA内))

主催

秋田公立美術大学

助成

平成27年度 文化庁
大学を活用した文化芸術推進事業

協力

株式会社 秋田ケーブルテレビ(CNA)、
Takuro Someya Contemporary Art

協力

赤坂光一 浅野江里子 石山拓真
勝又美智雄 後藤仁(ココロボラトリー)
佐々木伸 佐藤久男(NPO法人 蜘蛛の糸)
篠原秀一 高島純(高長寿司) 高橋伸
藤澤浩 村山留里子 森脇江介 横山誠治
渡部誠(NPO法人 蜘蛛の糸)
秋田市立日新小学校 新屋愛宕下町内会
アラヤイチノ運営委員会
あらやちやぶちやぶ大学
新屋松美ヶ丘町内会 高嶺格 木村剛士
二宮諒 秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻、ビジュアルアーツ専攻

本展開催に際してご協力・ご助言をいただいたみなさま、ここにお名前を掲載できなかった多くのみなさまに感謝いたします。

チラシ・ポスターデザイン

大西真平

テクニカルサポート

池田拓馬 田中健吾

事務局

石川真由子 畠山基子 秋田公立美術大学企画課 秋田公立美術大学社会貢献センター・アトリエもさだ

監修

岩井成昭

アドバイザー

田村剛

企画・運営

慶野結香



